

寺報

No.680

令和6年4月

蓮華寺
發行

御聖訓

琥珀は塵を取り、磁石は鐵を吸う、我等の悪業は塵と鐵の如く、

法華經の題目は琥珀と磁石の如し

是の如く思い

て常に南無妙

法蓮華經と唱

う可し。

『法華題目鈔』



(解説)

お釈迦様は「たとえどのような人間であつても、煩惱だらけという事はなく、必ず仏に成る仏性も持ち合わせているのだから、安心して生きていきなさい」とお説きになりました。

しかし、この世の大部分の人達は、全くその事に気が付かず、またたとえ気付いていたとしても、何もせず一生むなしく過ごしているのが現状です。

日蓮大聖人は「法華經・お題目を唱える事で、琥珀が塵を取るように、また磁石が鉄を吸うように、我々の積んだ悪業を取り払ってくれる」と教えられました。

我々はどうしても自己中心に成りやすく、勝手な行動や考えで、常に苦しみや迷いに悩まされている状態です。

ですから、自らこの心の中にある【仏性】の存在を信じ、己の悪業を取り除き、日頃の苦しみから逃れるように精進していかなければなりません。

どうか、その為には常日頃の法華經・お題目の信仰を欠かす事は出来ないのです。

会誕降御祖宗

四月十三日(土)

午後一時より

場所…大本堂



善日磨(幼少の日蓮大聖人)

- *日蓮大聖人様のお誕生日の日です。
- *皆さんでお祝い致しましょう。
- *お供物も受け付けています。

日蓮大聖人ご生誕の地

日蓮大聖人がお生まれになりました地は、今の千葉
 県鴨川市の安房小湊という小さな漁村で、誕生の日は
 貞応元年(一二二二)二月十六日で、年代こそは違ひ
 ますが、くしくもお釈迦様がお亡くなりになりました
 二月十五日の翌日に当ります。
 まさに、最高の教えであります「法華経」を、末法の
 世の我々に広める為に、生まれ変わったといえるで
 しょう。
 でも、その家柄については諸説があり、現在において
 も定かになってはいません。
 幼名の「善日磨」からも、高貴な方のご子息ではな
 かと推察されています。
 源平の内乱で、この地に流された武士の子孫を束ねて
 いた「貫名重忠」の子ではないか、また更に位の高い
 『後鳥羽上皇』の子ではないかともいわれています。
 しかし、大聖人は自らを
 「日蓮は日本国東夷東条安房の国、海辺の旃陀羅が子
 なり」
 「日蓮は今生には貧窮下賤の者と生まれ、旃陀羅が家

より出たり」

「日蓮は中国、都の者にもあらず、辺国の將軍等の子息にもあらず、遠国の者、民の子にて候。」

このように、ほとんどが漁師の子とか、民の子としか記していません。

この中の『旃陀羅』といえますのは、インドの身分制度で最も下の階級に位置付けされる階層なのです。つまり、大聖人は仏様の慈悲を戴く者は、身分・家柄・職業・学歴・老若男女は全く関係なく、ただ我々がいかに法華経・お題目の信仰をしていく事こそが大切なのかという事を、お教えになられたのでした。

【十三日のお勤め】

に参拝しましょう

「十三日のお勤め」は、日蓮大聖人の大事な(月ご命日)の日です。

皆様もご報恩の為に参拝し、ご一緒に法華経・お題目を唱えましょう。

●毎月十三日午後一時より

『位牌壇』の募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様のご命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎現在『位牌壇』をお持ちの方で、一年以上ご使用の方に、上位で空いています『位牌壇』を数がある限り無料でお譲りします。(管理費は変わりません)ですから【三席】から【特席】にも上がれます。

◎詳細は事務所まで!

お題目と共に生きた人々

歌舞伎役者

十一世『片岡仁左衛門』

(一八五七〜一九三四)

歌舞伎の第十一世片岡仁左衛門(にざえもん)(現在は第十五世)は、当初大阪で活躍していましたが、明治四十年(一九〇七)に『仁左衛門』を襲名してからは東京へ移り個性的な芸風で人気を博し、特に晩年は老け役に絶妙の演技を見せた役者でした。

片岡家は第一世が亡くなってから三百八十余年の伝統がある、代々の日蓮宗でありました。

特に十一世は信心深く、家庭のすみずみにまでその信仰心が行き渡っていたといわれます。

朝早く目を覚まし、空を仰いで「日天さん月天さん」と拝む事から始まって、仏法守護の鬼子母神さん、最上稲荷さん、梵天・帝釈天王さん、妙見さん、更に清正公(しよしょうこう)(加藤清正)さん、更に七面天女さんと一つ一つ丁寧に拝んでから、最後に仏壇の前に座ってご本尊さま・日蓮大聖人さま・ご先祖様に対して深く礼拝する

のが日課でした。

次の第十二世の思い出によりますと、自分が三歳の頃から、父がこれだけのお勤めが済まないと家族が朝ご飯が食べられなかったので、皆一生懸命に一緒に拝んだという事でした。

そのおかげで、回らぬ舌でお題目を唱え、お経をまねたりの毎日で、自然に信仰心が生まれたそうです。なお十一世は、たまたま舞台の役柄で『南無阿弥陀仏』という台詞(せりふ)があつたとしても、それを決して口にしなかつたという程の熱心な法華経の信者であつたといわれています。

また台詞を覚える時も、大阪の能勢(のせ)にあります『妙見様』で滝に打たれ、身を清め、更にお題目の修行をしてから覚えたというエピソードも残っています。何れにしましても、素晴らしい信仰の持ち主だった事は間違いがないでしょう。



檀信徒研修会のお知らせ

四月二十日(土) 聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間・・・午後七時より

場所・・・小本堂【イス席です】

持参品・・・聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

『霊神符』を持ちましょう!

最近の思いもよらぬ事件・災難・事故が多発し、特に子供さんが悲惨な事に会われています。皆様も素直に毎月一日のお守りを持って、身体を守ってもらいましょう。なお宗旨宗派は問いません。

『聖典の読誦と唱題行』の次第

礼拝文	「謹みて礼拝し奉る」	【4ページ】
開経偈	「無上甚深微妙の法」	【6ページ】
読経	「方便品第二」	【9ページ】
	「如来寿量品第十六」	【13ページ】
	「如来神力品第二十一」	【19ページ】
	「観世音菩薩 普門品第二十五」	【23ページ】
	「陀羅尼品第二十六」	【30ページ】
	「普賢菩薩 勸発品第二十八」	【35ページ】
懺悔文	「夫れ懺悔は治病の」	【47ページ】
御妙判	「祈禱鈔」	【67ページ】
御題目	「南無妙法蓮華経」	【72ページ】
宝塔品偈	「此経難持」	【72ページ】
回向文	「導師が唱えます」	【76ページ】
四誓願	「誓つて南無妙法蓮」	【76ページ】
三整唱	「なむめうほうれん」	【77ページ】
弾指合掌		

以上

〔盛運祈願会〕に参拝し

お守りを戴きましよう

我々は先祖や過去の因縁により、知らず知らずの間に悪業の種をまき、思いも知れない事故や事件に見舞われる時があります。

このような状況から、常に我々の身を守ってくださいのが『俱生靈神符』(毎月のお守り)であり、更にその月の運勢が良くなりますようにと、ご本尊様に祈念する行事を「盛運祈願会」といいます。

蓮華寺檀信徒の皆様は、この為に毎月ついたちの午後一時からのこの行事に参拝し、より強いご守護を戴きますようにと祈り、そしてお守りを交換しています。しかし、中にはお守りのみを求め、「盛運祈願会」に参拝しない方もいます。

我々は、常にご本尊・日蓮大聖人・諸天善神への報恩感謝を忘れてはいけません。

どうか皆様は「盛運祈願会」には必ず参拝し、法華経・お題目を唱え、そして自らの悪業の因縁を立ち切るようにしていきましょう。

『靈断』

檀信徒の皆様で、何か困り事や悩み事がありましたら迷わず蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導します。

なお、宗旨宗派は問いません。

必ずご予約下さい。(☎七七六一五八四〇)まで
【一件・・・三千元となります】

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、当山住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

『提灯』募集!

当山で『お正月』『鬼子母神大祭』『御会式』に下げます『提灯』(トローロー)を募集しています。作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度のみ一万円となります。

お寺からのお知らせ

当山では、次の主な仏事用品をお譲りしています。

*お塔婆

- ◎普通塔婆 (二千五百円)
- ◎普通幅広塔婆 (三千円)
- ◎五十回忌用塔婆 (三千五百円)
- ◎五十回忌幅広塔婆 (四千元)
- ・お寺・ご自宅で法事をする時、お塔婆をご希望の方は、その旨をお申し付け下さい。

*お追膳

- ◎一膳 (五百円)
- ・お寺で法事・命日忌を行う場合ご用意します。位牌堂・永代供養堂にご命日にご用意します。

*日蓮宗用過去帳

- ◎大・五千五百円◎小・五千元【書き代五千元】

*大曼荼羅御本尊

- ◎極小四千五百円から各種サイズがあります。大きさはご相談下さい。【魂入れ代五千元】

*大荒行護符(オブラート・一枚三百円)

*榊入大黒天(分割可能)

- ◎一升榊(手彫・五万円)(機械彫・三万円)

- ◎五合榊(手彫・四万円)(注)魂入・御幣代も含む

*お経本

- ◎聖典(千二百円)
- ・ついたちのお勤め・朝のお勤め・檀信徒研修会用
- ◎法華経要品の訓読【日本語読み】(二千円)
- ・十三日のお勤め・秋彼岸会のお勤め用

*お経のテープとCD

- ◎聖典用のカセット(六百元)・CD(千円)
- ◎十三日用のカセット(六百元)・CD(千円)

*地鎮祭用の経石

- ◎地鎮祭で土地に埋める経石五個(五千元)

*起工式(柱立て)用の棟札

- ◎大黒柱に掛ける棟札(三千元)

*御首題帳

- ◎参拝寺院のお題目・御朱印の記入帳(千円)

*朝光水(身延山の目薬・七百元)

*その他・お守り・お札等

◎お守り袋・チェーン・ペット用のお守り・お札等色々取り揃えていますのでお申し付け下さい。

四月の行事

一 日(月) 盛運祈願会 午後一時より

- ・ お守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ 必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱えてお守りを交換しましょう。
- ・ 聖典(お教本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(土) 日蓮大聖人の御回向 午後一時より

- ・ お経
 - 如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み)
 - 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
- ・ 皆様も進んで参拝し、一緒にお経を唱えましょう。

十三日(土) 宗祖御降誕会 午後一時より

⑨ 日蓮大聖人のお誕生日の日です。

二十日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より

⑩ どなたでもご自由に参加出来ます。

☆ 奉仕のお知らせ

五日(金) 倉庫整理と境内地の大清掃

教宣部男女・・・午前十時より

* 今月は、大掃除を行いますので、沢山の方々の奉仕をよろしくお願い致します。

◎ 教宣部長・杉淵昌三

☆ 行事のご案内

* 盛運祈願会

- ・ 毎月のお守り(霊神符)を必ず着体しましょう。
- ・ 一日午後一時からの勤めに参拝しましょう。

* 十三日のお勤め

- ・ 日蓮大聖人様の大事な『月ご命日』の日です。
- ・ 午後一時からの勤めに参拝して下さい。

* 朝のお勤め

- ・ 毎朝、午前六時半より(一時間十分)
- ・ 聖典【お経本】と数珠を忘れずに!

⑨ 剣守札 (星)

星祭の剣守札(星)をお忘れの方は、まだ受付ていますので、どうぞお申込み下さい。



一体・・・二〇〇円